

ミスミグループ

2021年3月期 決算報告

2021年5月7日
代表取締役社長
大野龍隆

20年度決算の概要

為替レート(対円)	FY19 実績	FY20 実績
USドル	109.1円	106.2円
ユーロ	121.1円	123.7円
人民元	15.7円	15.6円

目次

1. 20年度決算の概要	2
2. 21年度通期連結業績見通し	14

20年度市況と当社の取り組み

コロナ禍の影響がグローバルに広がる中、

- 期初から設備投資減、工場稼働低下等の影響を受けるも中国を始め徐々に生産稼働回復を実感
- グローバル生産網・供給網を駆使して確実短納期を堅守
- コロナ禍を契機に、一層強い事業体質への転換を推進
 - ・ 中長期視野での収益改善策を徹底実行
 - ・ 事業拡大に向けた事業基盤強化は厳選継続
 - ・ 将来の成長原資を獲得するための「高収益体質」を確立

「足元の環境変化への対応」と「持続的成長への備え」を両立

20年度 決算概要

中国に加え海外各地域で期中より回復傾向、売上はほぼ前年並み
基礎収益性の改善、販管費抑制により下期に収益性が大幅改善

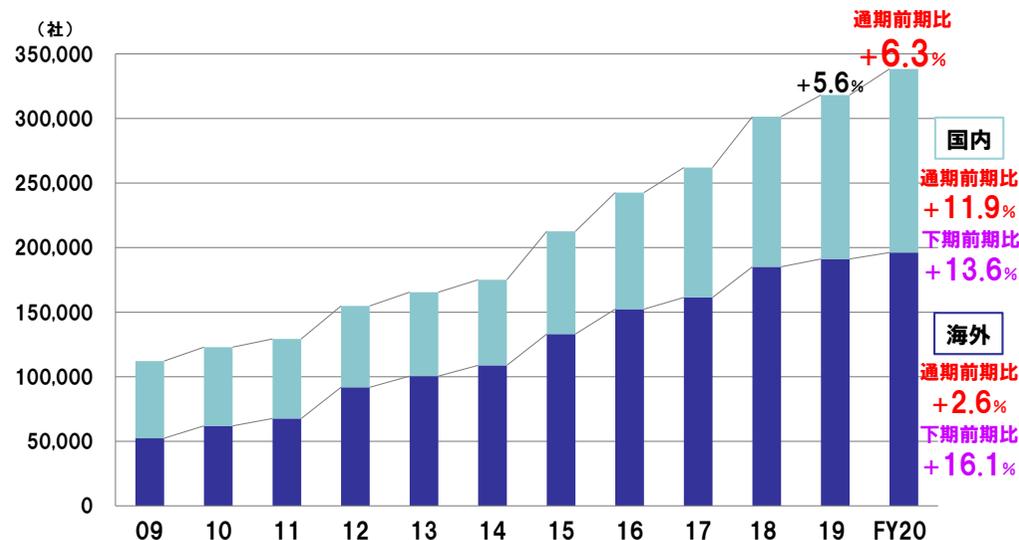
項目	FY19	FY20			
		3/25 修正計画	実績	増減率	
	実績			対前年	対計画
売上高	313,337	309,000	310,719	▲0.8%	+0.6%
営業利益 (のれん等償却前)※	24,247	27,578	27,789	+14.6%	+0.8%
利益率	7.7%	8.9%	8.9%	+1.2pt	+0.0pt
営業利益	23,640	27,000	27,199	+15.1%	+0.7%
利益率	7.5%	8.7%	8.8%	+1.2pt	+0.0pt
経常利益	23,245	26,800	27,189	+17.0%	+1.5%
当期利益	16,504	16,000	17,138	+3.8%	+7.1%

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

4

顧客数推移

国内外で顧客基盤拡大継続、海外は中国がけん引し下期大幅回復
景況の回復に加え各地域で取り組んできた确实短納期強化が奏功



5

20年度 事業別売上高

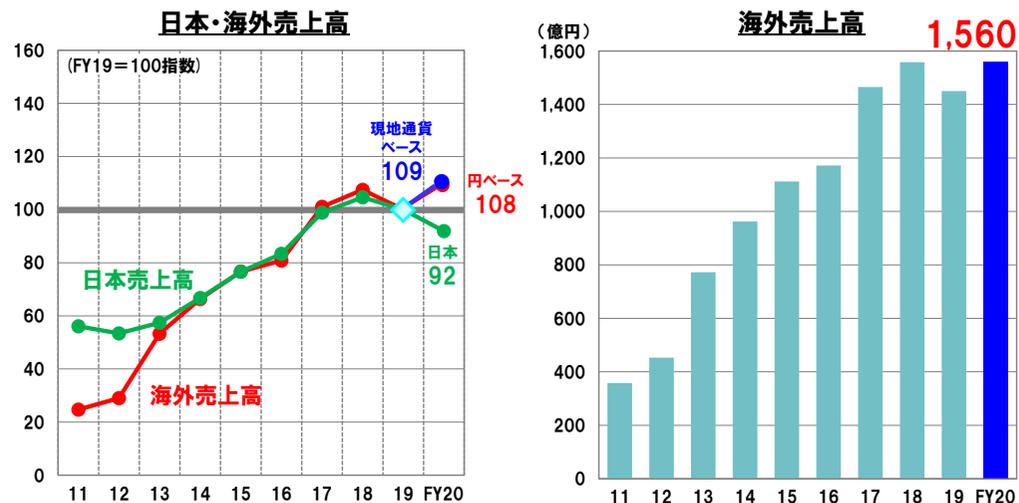
FA 中国が年間を通して好調に推移し増収を確保
金型部品 自動車関連は下期に回復傾向も上期マイナスを補えず
VONA 海外は确实短納期強化/市場開拓で伸長、国内は低迷

項目	FY19	FY20		
		実績	実績	対前年増減率
			円ベース	現地通貨ベース
合計	313,337	310,719	▲0.8%	▲0.3%
FA事業	99,403	102,244	+2.9%	+3.2%
金型部品事業	72,413	66,871	▲7.7%	▲6.4%
VONA事業	141,519	141,602	+0.1%	+0.4%

6

20年度 日本・海外売上高

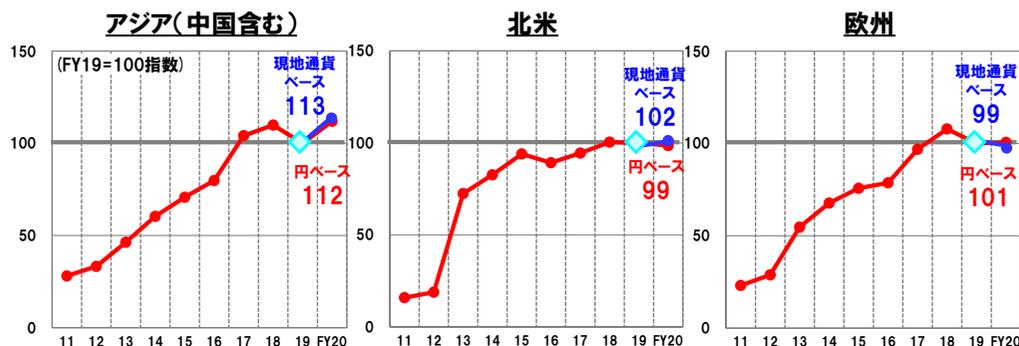
日本 半導体関連は回復も自動車業界が弱含み、低調に推移
海外 中国は過去最高を更新、他地域も期中から回復が顕著
海外売上高は現地通貨ベースで8.8%増、海外比率は50%



7

20年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中国はLi電池/半導体/5G関連が年間を通じて好調に推移
米・欧 上期はマイナス成長も下期に自動車関連の設備投資が回復



中国 126(126)
アジア 96(98)
()内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY19 実績	FY20 実績
USドル	109.1円	106.2円
ユーロ	121.1円	123.7円
人民元	15.7円	15.6円

8

20年度 収益改善の取り組み

アフターコロナ含む市場構造転換、競争環境変化への対応力を強化
より成長性・収益性の高い事業へのリソースシフトを加速

- 1 非効率業務の抜本的見直し**
 - 自動化、IT化の活用
 - オフィス、倉庫のスペース削減
- 2 事業毎の将来性評価を厳格化**
 - 北米金型事業
 - ソフトウェア関連
- 3 低利益商品の販売中止・サービス停止**
 - ミスミ顧客需要・特性にそぐわない商品
 - meviy金型サービス
- 4 価格是正**
 - 市場での競争性を鑑みた価格設定の適正化

9

20年度 事業別営業利益

FA 売上増の効果に加え収益改善の徹底により大幅に増益
金型部品 売上減の影響を収益改善効果でカバーし現通ベース微増
VONA 下期の数量回復に加え価格是正効果等で増益を確保

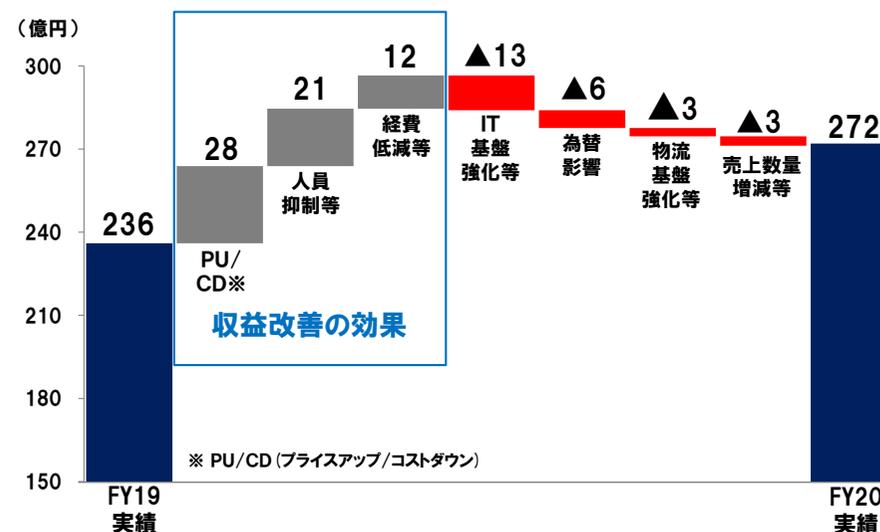
項目	FY19		FY20			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			利益率	円ベース	現地通貨ベース	
合計	23,640	7.5%	27,199	8.8%	+15.1%	+17.6%
FA事業	12,578	12.7%	16,115	15.8%	+28.1%	+29.0%
金型部品事業	5,009	6.9%	4,930	7.4%	▲1.6%	+2.2%
のれん等償却前	5,616	7.8%	5,520	8.3%	▲1.7%	+1.7%
VONA事業	6,052	4.3%	6,152	4.3%	+1.7%	+6.5%

百万円

10

20年度 営業利益増減分析(前年比)

抜本的収益改善策により粗利益率の向上、販管費抑制を徹底
持続的成長に向けた事業基盤強化への支出余力を捻出

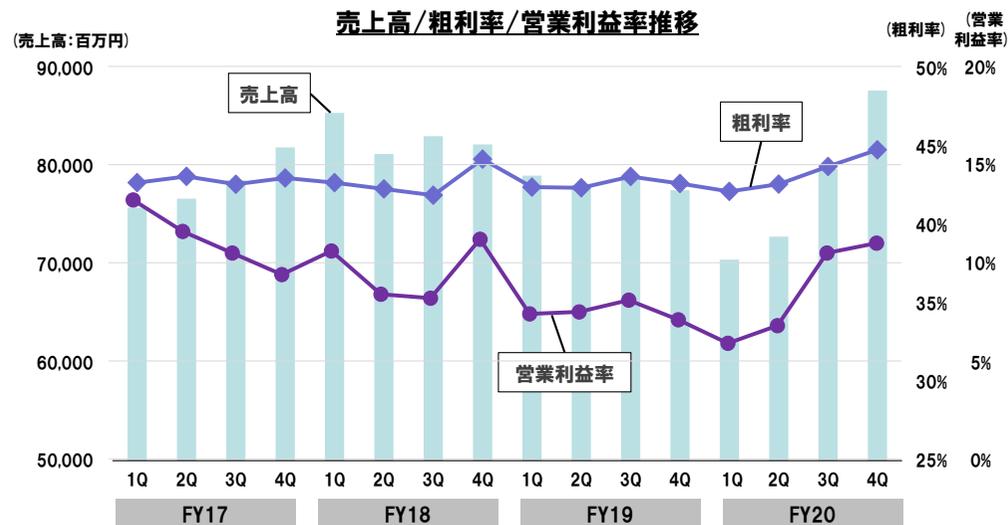


※ PU/CD (プライスアップ/コストダウン)

11

利益性四半期毎の推移

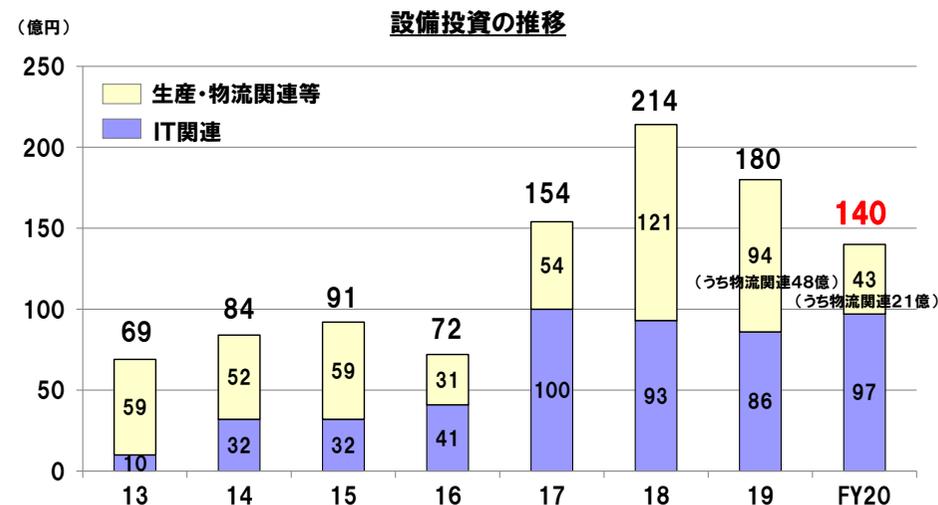
コロナ禍を機として着手した収益改善は下期から効果表出
4Q収益性は17年度レベルまで回復、体質改善で持続的成長を狙う



12

投資実績

製造と物流投資は受注見合で抑制、需要動向を踏まえ時期を再考
基幹システム刷新等のIT強化投資は厳選し実行を継続



13

21年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 計画
USドル	106.2円	105.0円
ユーロ	123.7円	125.0円
人民元	15.6円	16.0円

14

21年度の見立て

新型コロナウイルス感染影響、米中貿易摩擦を契機に産業界は、

- ・ 旧来の自動車・携帯からEV、ロボット、半導体が主役に
- ・ グローバルサプライチェーンは各地域ブロック化が進展

自動化需要は一層加速

中国を始め各地域で事業機会は拡大

(一方、米中の地政学的問題は高リスク化)

事業基盤の革新継続によりグローバル確実短納期をさらに進化
成長性・収益性の高い事業/サービスへの絞りと集中を加速

15

21年度 通期業績見通し

売上高、利益ともに過去最高更新を計画
 昨年度の収益改善効果及び、今年度の施策継続で大幅増益を狙う

項目	FY20		FY21	
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	310,719	340,000	+9.4%	+8.9%
営業利益 (のれん等償却前)※	27,789	38,466	+38.4%	+36.1%
利益率	8.9%	11.3%	+2.4pt	+2.2pt
営業利益	27,199	38,000	+39.7%	+37.4%
利益率	8.8%	11.2%	+2.4pt	+2.3pt
経常利益	27,189	37,600	+38.3%	-
当期利益	17,138	27,400	+59.9%	-

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

16

21年度 事業別売上高見通し

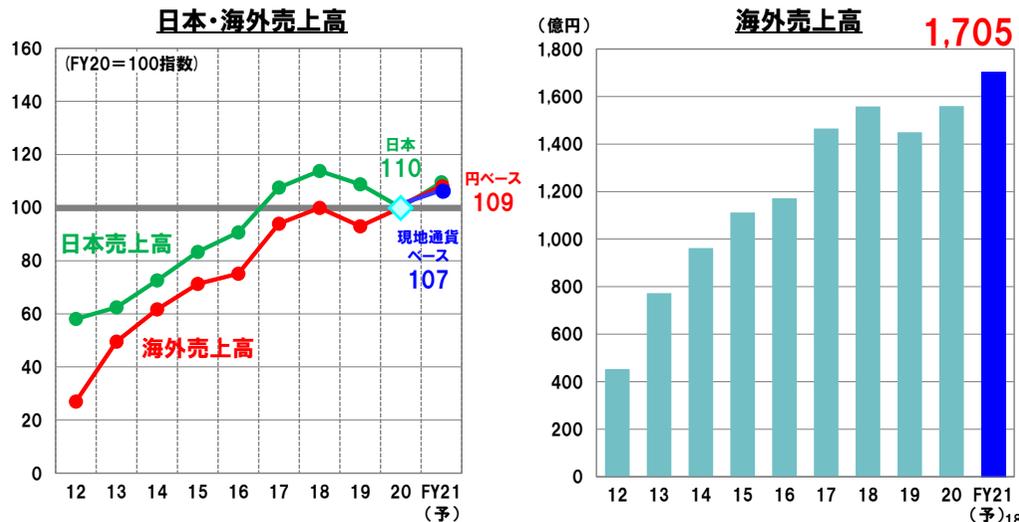
FA、VONAは新規顧客開拓等により、加速する自動化需要を刈取り
 金型部品は自動車関連の回復を着実に捉え増収を確保

項目	FY20		FY21	
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	310,719	340,000	+9.4%	+8.9%
FA事業	102,244	115,284	+12.8%	+12.1%
金型部品事業	66,871	70,159	+4.9%	+4.5%
VONA事業	141,602	154,557	+9.1%	+8.6%

17

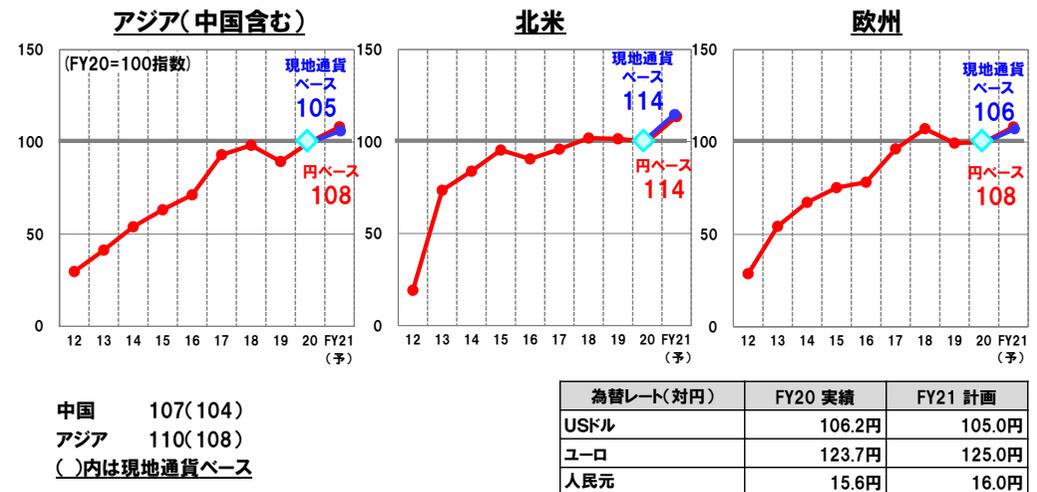
21年度 日本・海外売上高

日本 EV等の成長市場向け拡販で自助努力による成長を狙う
 海外 各地域にてFA、VONA事業がけん引し持続的成長を計画
 海外売上高は現地通貨ベースで7.2%増、海外比率は50%



21年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

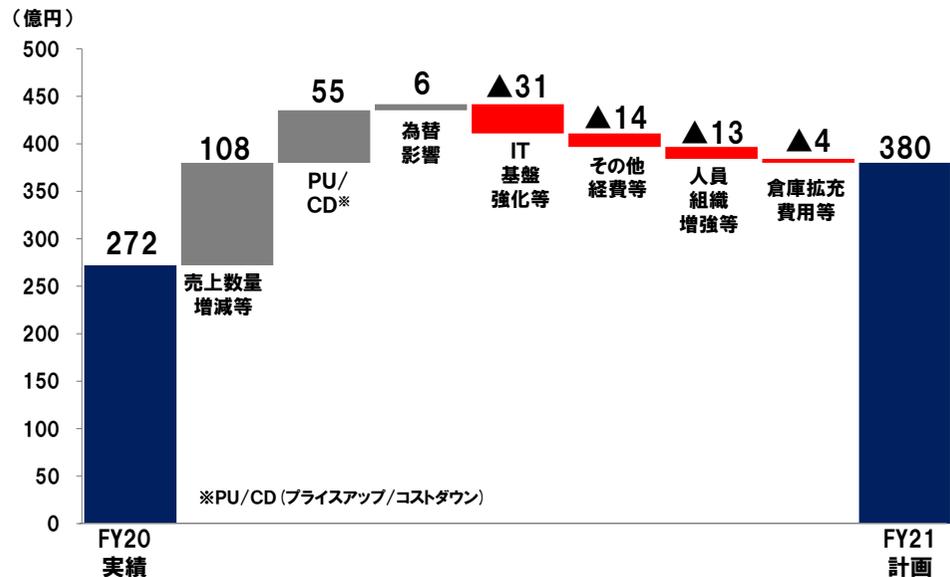
アジア 中:品揃え大幅強化で新規顧客開拓、亜:量産工場攻略継続
 北米 EV関連業種等の成長市場へリソースシフトを加速
 欧州 デジタルマーケティングの強化により、顧客拡大・顧客内浸透を図る



19

21年度 営業利益増減分析(前年比)

昨年度の収益改善策効果に加え、21年度も取り組みを継続
将来の成長に向けた投資・支出を実行の上で大幅増益を計画



20

株主還元

20年度は、通期15.09円の配当を実施予定
21年度は、通期24.11円の配当を見込む(配当性向25%)
対前年9.02円増、前年比+59.8%、過去最高を更新



21

まとめ

20年度の収益改善を礎に将来の成長に向けた「攻め」の経営に転換

